

2017年10月6日

デンカ株式会社
デンカ生研株式会社

がん治療ウイルス製剤「G47Δ」製造設備を竣工

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、社長：山本学、以下「デンカ」）の主要グループ会社であるデンカ生研株式会社（本社：東京都中央区、社長：綾部光邦、以下「デンカ生研」）は、2016年7月21日発表のとおり、新潟工場に建設していた、がん治療ウイルス製剤「G47Δ（デルタ）」製造設備（41号棟）を、2017年10月5日に竣工したことをお知らせいたします。

「G47Δ」は、遺伝子改変単純ヘルペスウイルスⅠ型を用いた新しいコンセプトのがん治療薬で、2015年より、膠芽腫（こうがしゅ／悪性脳腫瘍の一種）を対象としたフェーズ2医師主導治験が行われています。デンカ生研は、東京大学医科学研究所 藤堂具紀教授からの委託により、実用化に向けた大量生産法の開発を2015年より進め、このたびの初期製造設備の完成に至りました。なお、本設備の稼働時期につきましては、本製剤が厚生労働省から製造販売が承認された後となります。

10月5日に五泉市内で開催した竣工披露式典には、藤堂教授をはじめ、第一三共株式会社より古賀常務執行役員のほか、地元からは新潟県および五泉市、建設工事関係者の皆さまにご出席いただきました。

席上、デンカ社長の山本は、革新的な「G47Δ」が一日でも早く患者の皆様に届けられるようデンカグループ全体で力を尽くす決意を表明しました。

デンカ生研社長の綾部からは、本治療薬の開発と新製造設備建設に多大なご支援いただいた皆さまへの深い感謝をお伝えするとともに、ワクチン、検査試薬に加えて3本目の柱を得たことで、より一層の飛躍を図っていく方針をご説明いたしております。

デンカグループは、新たな医療技術を開拓する、画期的な治療薬「G47Δ」の製造受託を通じて、がん治療の進歩と発展に寄与してまいります。



竣工披露式典での
東京大学医科学研究所 藤堂具紀教授



竣工披露式典での
デンカ山本社長

<ご参考>

2015年5月12日付ニュースリリース：がん治療ウイルス製剤「G47Δ」実用生産の開発受託に関するお知らせ
http://www.denka.co.jp/news/pdf/20150512_G47.pdf

2016年7月21日付ニュースリリース：がん治療ウイルス製剤「G47Δ」製造設備建設に関するお知らせ
http://www.denka.co.jp/news/pdf/20160721_G47.pdf

以上

【問い合わせ先】

デンカ株式会社 CSR・広報室 03-5290-5511